

第27回身体運動科学公開シンポジウム

新時代における

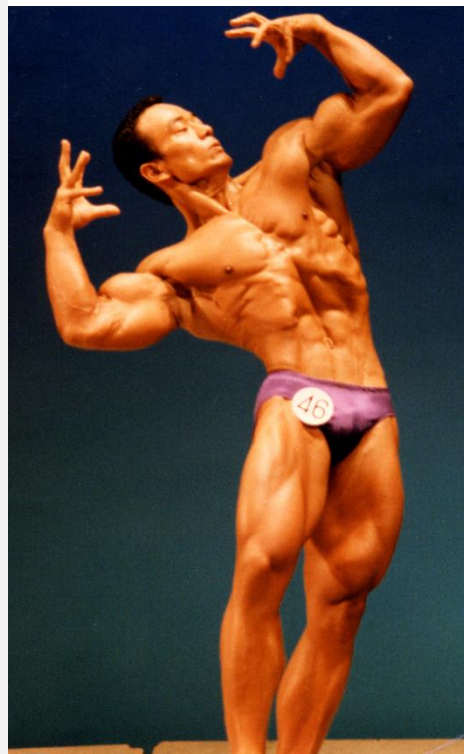
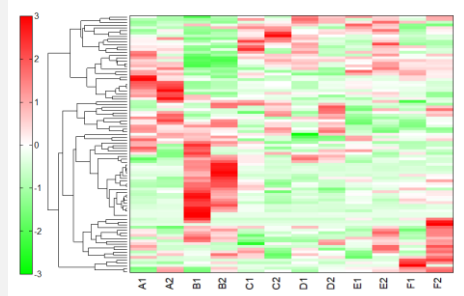
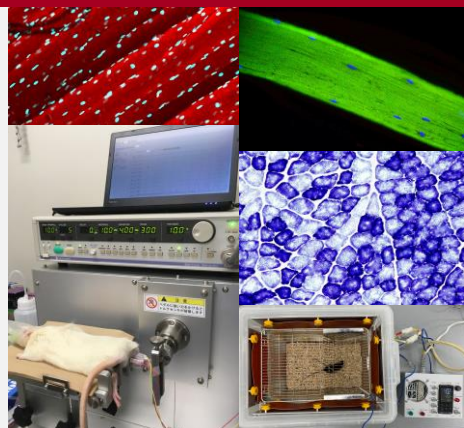
骨格筋とトレーニングの科学

令和元年7月13日 (土)

13:00～16:30 (ポスターセッション12:00～)

東京大学 駒場キャンパス

21 KOMCEE West レクチャーホール
(京王井の頭線「駒場東大前」下車 徒歩5分)



入場無料

登録不要

プログラム

12:00～ ポスターセッション

13:00～ シンポジウム第1部

基調講演「筋トレーニング研究の未来」

石井 直方 (東京大学大学院総合文化研究科/UTSSI 教授/拠点長)

14:10～ ポスターセッション&コーヒーブレイク

14:40～ シンポジウム第2部

健康長寿社会の実現を支える骨格筋の基礎研究

- ・レジスタンス運動のプロトコルと効果の関係性について
小笠原 理紀 (名古屋工業大学生命・応用化学専攻 准教授)
- ・筋萎縮の原因とレジスタンス運動を用いた予防について
中里 浩一 (日本体育大学保健医療学部 教授)
- ・温熱刺激による骨格筋ミトコンドリアの適応と加齢関連疾患治療への応用可能性
田村 優樹 (日本体育大学体育学部 助教)
- ・レジスタンス運動直後における筋疲労度と長期効果の関連
佐々木 一茂 (東京大学大学院総合文化研究科/UTSSI 准教授)
- ・総合討論

主催：東京大学 大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室
共催：東京大学 スポーツ先端科学研究拠点 (UTSSI)